

3月23日 6学年 修了式 式辞

6年生の皆さんの修了に当たり、校長先生からは、少し難しいけれど、大事なことをお話します。これから中学校へ飛び立つ皆さんですから、きっと、理解をしてくれるとお話をしてします。

先日の朝会の時に、ウクライナとロシアの間で起きている戦争のことをお話しました。1ヶ月以上たった今でも、とても悲しいことに、まだ、収束していません。

このような悲惨な戦争を始め、地球上には環境問題、貧困問題など、多くの問題があります。

「SDGs」という言葉を皆さんは知っていますか。

これらの問題が解決されて、地球上の「誰一人取り残さない」で、皆が安心して暮らし続けていけること。それを目標として掲げたのが、持続可能な開発目標「SDGs」というものです。これから君たちが生きるのは、まさしく「SDGsを目指す社会」です。

ここで、「世界がもし100人の村だったら」という文章を皆さんにご紹介します。

もし、現在の人類統計比率をきちんと盛り込んで、
全世界を100人の村に縮小するとどうなるでしょう。

その村には・・・

57人のアジア人

21人のヨーロッパ人

14人の南北アメリカ人

8人のアフリカ人がいます

52人が女性です

48人が男性です

70人が有色人種で

30人が白人

70人がキリスト教以外の人で

30人がキリスト教

89人が異性愛者で

11人が同性愛者

6人が全世界の富の59%を所有し、
その6人ともがアメリカ国籍

80人は標準以下の居住環境に住み

70人は文字が読めません

50人は栄養失調に苦しみ

1人が瀕死の状態にあり

1人はいま、生まれようとしています

1人は（そうたった1人）は大学の教育を受け

そしてたった1人だけがコンピューターを所有しています

もしこのように、縮小された全体図から私達の世界を見るなら、
相手があるがままに受け入れること、
自分と違う人を理解すること、
そして、そういう事実を知るための教育が
いかに必要かは火をみるよりあきらかです。

また、次のような視点からもじっくり考えてみましょう。

もし、あなたが今朝、目が覚めた時、病気でなく健康だなど感じる事ができたなら・・・
あなたは今生き残ることのできないであろう 100 万人の人達より恵まれています。

もしあなたが戦いの危険や、投獄される孤独や苦悩、あるいは飢えの悲痛を一度も体験したことがないのなら・・・
あなたは世界の5億人の人達より恵まれています。

もしあなたがしつこく苦しめられることや、逮捕、拷問または死の恐怖を感じる事となしに教会のミサに行くことができるなら・・・
あなたは世界の30億人の人達より恵まれています。

もし冷蔵庫に食料があり、着る服があり、頭の上に屋根があり、寝る場所があるのなら・・・
あなたは世界の75%の人達より裕福で恵まれています。

もし銀行に預金があり、お財布にお金があり、家のどこかに小銭が入った入れ物があるとしたら・・・
あなたはこの世界の中でもっとも裕福な上位8%のうちの一人です。

もしあなたの両親がともに健在で、そして二人がまだ一緒なら・・・
それはとても稀なことです。

もしこのメッセージを読むことができるなら、あなたはこの瞬間二倍の祝福をうけるでしょう。

なぜならあなたの事を思って、これを伝えている誰かがいて、その上あなたはまったく文字の読めない世界中の 20 億の人々よりずっと恵まれているからです。

昔の人がこう言いました。わが身から出るものはいずれ我が身に戻り来る、と。

お金に執着することなく、喜んで働きましょう。

かつて一度も傷ついたことがないかのごとく、人を愛しましょう。

誰もみていないかのごとく自由に踊りましょう。

誰も聞いていないかのごとくのびやかに歌いましょう。

あたかもここが地上の天国であるかのように生きていきましょう。

(著作：池田 香代子 刊行：マガジンハウス)

・・・私たちは、豊かで平和な国「日本」に生まれて、食べるものがあり、きれいな水が飲め、学校で勉強ができ、住む家があり、そして今日も当たり前のように生きています。

普段何気なく生活している中にたくさんの感謝すべきことがある。それを実感しながら生きることがすでに「誰一人取り残さない」SDGs の実現に関わっています。

中学生となって、より広い社会で、広い視野をもって生きていく皆さんが、普段から SDGs を意識して生活し、「だれ一人取り残さない」世界の実現のために、これから私たちと奮闘して行ってほしいと願っています。

皆さんのこれからの人生が健やかで、幸多きことを心から願って、式辞とします。